



令和6年3月19日

報道関係者 様

不登校に特化した学生ボランティアにエールを贈るため 守口市教育委員会が学生自身の成長を記した「活動証」を授与

→ 主な概要

昨今のコロナ禍の影響もあり、不登校の児童生徒数は令和4年度に最多（小学校135名、中学校190名）となり、令和5年度はそれを上回る見込みです。

本市では、不登校の子どもの支援の一つとして、近隣大学の学生を『学生フレンド』として派遣しています。話し相手や遊び相手になりながら、学生だからできる子どもとの関係づくりを行い、子どもの自宅や校内の支援ルームなどで支援活動を行っています（現在、子ども51名に対し、学生47名を派遣）。学生と一緒に登校できた（41名）、校内の支援ルームで活動できた（38名）など、子どもの状況に改善が見られています。

学生フレンドは、子どもに合わせて色々と工夫しながら課題を解決していきます。子どもの自立や成長だけでなく、学生もまた大きく成長し大変意義ある経験になります。近隣大学を訪問し、学生への登録の呼びかけをお願いした際に、このことを理解いただけたことが、多くの学生フレンドの確保につながったものと考えています（登録学生66名）。

このたび、学生フレンドに対し、担当した子どもの様子とともに学生自身の成長を記した「活動証」を、教育長から手渡します。

他に例のない市独自の取り組みです。是非、取材いただけますと幸いです。

→ とき・ところ・内容

日時：令和6年3月21日（木）13:00～

場所：守口市役所6階 教育委員会会議室

対象：令和5年度活動した学生フレンド（当日出席者10～15名予定）

内容：教育長から「活動証」を授与

【問合せ】

守口市教育センター

電話 06-6997-0703